

第2回民事判決情報データベース化検討会について

(有識者ヒアリングの概要)

第1 民事判決情報の利活用の可能性について

1 情報社会学の観点から

武蔵大学 社会学部 メディア社会学科 教授 庄司昌彦 様

御発表15分・質疑応答15分

(話題事項)

- 国全体のオープンデータ政策やデータ利活用方針
- データ利活用に関する事例紹介
- 民事判決情報の利活用の可能性
- 利活用の可能性を見据えたデータ整備の在り方

2 法社会学の観点から

早稲田大学 大学院 法務研究科 教授 石田京子 様

御発表15分・質疑応答15分

(話題事項)

- 現状の民事判決情報の問題点
- 民事判決情報オープンデータの利用可能性
 - ・ 司法アクセス研究の視点から
 - ・ ジェンダー法研究の視点から
 - ・ 法曹養成の視点から

第2 民事判決情報の利活用の現状について

1 我が国における民事判決情報利活用の歴史と展望

株式会社判例タイムズ社 浦野哲哉 様

御発表10分

(話題事項)

- 創刊当時の判例雑誌の役割
- 判例雑誌の発展と近時の利用者のニーズに応じた役割の変化
- データベース化実現後の将来展望

2 民間データベース会社に対するニーズと将来展望

株式会社L I C 代表取締役 讃井泰雄 様

御発表 10 分

(話題事項)

- 裁判例の掲載状況
- 民間データベース会社に対する利用者のニーズ
- A I による判例検索アシストへの利活用可能性
- データベース化実現後の将来展望

3 民間データベース会社の現状と将来展望

第一法規株式会社 出版編集局 局次長兼編集第一部長 川原崎晶子 様

御発表 10 分

(話題事項)

- 民事判決情報掲載に至る業務フローとデータベース化の必要性
- 利用者のニーズを踏まえた在るべきデータベースの形
- データベース化実現後の将来展望

4 質疑応答 (45 分)

以上